

~Current:時代の流れあるいは新しい潮流~

かねんと

2017.2.24
No.50

地域の子育て
応援団!

鹿沼に登場!「子育てタクシー」

今号では「子育てタクシー」のライセンスを取得した、タクシードライバーの駒場さん取材しました。お会いした駒場さんは、男女共同参画の理念を地で行くような素敵なイクメンパパでもありました。



プロフィール
駒場 守さん
栃木ロイヤル交通(株) 取締役
神奈川県出身
10年前父親が故郷鹿沼に戻りタクシー業を始めた。その父の要望により、IT関連企業からタクシー会社へ転職、現在は宇都宮市在住。

子育てタクシーって何?

「子育てタクシー」とは、全国子育てタクシー協会主催の子育てタクシードライバー養成講座課程を修了したドライバーが専門に乗務するタクシーのことです。事前に登録しておく、妊婦さんも安心して利用できる、子育て世代に優しいタクシーです。

[コースごとに登録となります]

かんがるーコース ○荷物の多い子連れの外出を強力サポート。

ひよこコース ○通園・通学・通塾など、子ども一人でも安心送迎。

こうのとりコース ○陣痛が来たら産院へ直行。防水シートも完備。

ふくろうコース ○急なトラブルや夜間の発熱などにも対応。

◆安心5つの約束

1. 安心専任ドライバー
2. 登録の利用で安心して暮らせる
3. もしもの時専用保険に加入しているので補償が万全
4. チャイルドシートを用意
5. 地域の子育て支援団体との連携応援

主な内容

- P1・子育てタクシー
- P2・インタビュー
・報告/ウーマン応援塾
- P3・50号を記念して
- P4・報告/男女共同参画セミナー
・かねんとイチオシ他

鹿沼市ホームページが新しくなりました!「かねんと」バックナンバーは以下の通りご覧いただけます。

トップ>福祉・健康>人権・男女共同参画>男女共同参画>男女共同参画情報「かねんと」バックナンバー

講座レポート その2

平成28年度男女共同参画セミナーinかぬま

第三回「イクメン・イクジイの活躍」

講師 NPO法人tadai-ma! 代表三木智有さん

10月11日(火)市民情報センターにて

「家族でありがとうが言えるチャンス」

日本の男性の「家事責任を担う気持ち」が実は高いという事を御存知ですか?家事シエアを推奨している講師の三木智有さんは、日本で家事シエアがなかなか進まない原因を「女性がパートナーに求める家事育児」に対して男女で大きな認識の違いがあるため、と指摘します。

講座では、興味深い統計を用いて男女それぞれを取り巻く社会問題などを取り上げ、家事シエアの重要性、利便性を解りやすく説明されました。

最後に、家事シエアは「パートナーに家事をやらせること」ではなく、「家族で支え合う関係性を築くこと」と、締めくくりました。

(福田万里子)



募集します

男女共同参画情報誌「かねんと」編集員募集!

年2回発行を目指して、仲間とワイワイ楽しく作らしましょう。

任期 平成29年4月1日から1年間

募集人員 2人

応募条件 20歳以上の市内在住者。ただし公務員または準公務員以外の人

応募方法 どちらも、3月17日(金)までに、応募用紙を提出してください。

※応募用紙は市ホームページにあります。

お問い合わせ、お申し込みは鹿沼市人権推進課男女共同参画係まで

☎ 0289-63-8352

男女共同参画セミナー運営委員募集!

男女共同参画社会の実現をめざしてセミナーの企画運営する委員を募集します。

任期 平成29年4月1日から1年間

募集人員 2人

応募条件 20歳以上の市内在住者で、年10回程度出席できる人

♥かねんとイチオシ!♥

「下野YOSAKOI与一まつり」

毎年秋に大田原市のなかがわ水遊園で、よさこいと花火大会が実施されます。今年で11年目になります。関東地区から41チームが参加。幼児から学生・高齢者まで総勢500名が競演し、振付の醍醐味、アレンジの素晴らしさに感動します。毎年参加していますが、いつも元気いっぱい勇気もらって帰ってきます。

編集後記



新春に、鹿沼の市内を歩いてみました。昨年11月30日に、鹿沼の今宮神社祭の屋台行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたときから、じっくり屋台を見たいと思っていました。約2時間ほどですが、お祭りの思い出に浸りながら「屋台のまち中央公園」を散策しました。ランチを敷地内の「おこんにやく茶屋」さんで食べてみました。なんと、こんにやくステーキ、こんにやくのケーキ...こんにやくづくしで驚きました。こんにやくって美味しいと思ひ、得した気分。帰ってからホームページをいろいろ調べて、ロコミの多さにも驚き、また行きたいと思っています。

*「かねんと」は、ボランティア編集員が担当し、作成しています。

一鹿沼市一

「人と関わる・社会と関わる・今自分ができる事」

子育てタクシードライバー 駒場 守さん

妊娠って大変だな
Q1「子育てタクシー」を始められたきっかけは？

自分自身に子どもが生まれたのがきっかけです。妻の妊娠・出産をそばで見ている、「これは大変だな」と自分に何か出来ることはないかと思っていたところに「全国子育てタクシー協会」の存在を知りました。講習を受け、自分自身がまず資格を取り、現在は社内3名の資格所持者がいます。

家族も安心、子育てタクシー

最近では核家族が増え、日中陣痛が起きた妊婦さんが一人で病院に向かうことも多いと思います。「この」とりコース」では、前もって登録することで、定期健診や出産時も安心して妊婦さんが利用できます。

Q2「子育てタクシー」を始められて何か変化はありましたか？

「ひよこコース」ではお子さんとの触れ合いが多く、お子さんの成長が見られるという楽しさが増えました。



男女の差は感じない

Q3 男女共同参画についてどう思いますか？

僕は33歳ですが、僕の年代は男女の差をあまり感じてないかな。前の職場でもそうでした。家庭でも、自分から出来る事は何でもやろうと思っていて、積極的に子育てにも参加しています。でも親世代は違いますね。親世代の意識を変えるのは難しいですが、少しずつ変えていくものかなと思っています。ただ男女で決定的に違うのは、やはり出産だと思います。私の妻も「結婚しているならこれから妊娠・出産があるよね」と言われて面接に落ちた経験があります。そこは、男女共同参画以前の段

階で、これこそ今後の課題だと僕は思っています。本当は「子育てタクシー」を女性の方にやってもらいたい。男女共同参画とは男女まったく同じ仕事に就くことではなく、男性には男性の、女性には女性の得意な仕事があると思います。「子育てタクシー」は女性のためのサービスであるので、女性ならではの気遣いや、柔らかいお話の仕方を活かして女性が活躍できる仕事だと思います。

鹿沼はいい所、もっと広めよう

Q4 今後、鹿沼市に期待することは？
鹿沼には素晴らしいところがたくさんあります。もっとそれを広めていくといいと思います。電車で鹿沼に降り立って、初めて接するのがタクシーの運転手と言う方もいると思います。それが鹿沼の第一印象につながるので、そういう意味でも、もっと鹿沼のいいところを、自分も含めて知って広めていけたらいいなと思います。

現役かれんと編集員から

50号を迎えて

「進む理念と終わらない学び」

「男女共同参画」という理念のもと、かれんが創刊されてから25年が経ちます。生まれた子どもは成人している月日です。もっと前から活動に尽力されてきた先人達の努力の賜物でしょう。社会は変わってきていると感じます。私自身が、かれんと編集に携わるようになって6年。自分の男女共同参画社会に関する勉強はまだだと感じておりますが、知ること、学ぶこと、続けることの重要性を日々痛感しております。「偏見」や「差別」は、無知から生まれるものだと思います。これからもずっと学び続けていきたいと思ひます。

(福田万里子)

「私の男女共同参画」

定年後、男女共同参画を学ぶ機会に出会いました。私の40歳ごろは家庭内でも女性が家事全般を担うのは当たり前のこと、でも違うよね？と疑問を感じて行動している自分がありました。「鹿沼アテップ」「生涯学習サポーターグラッド」に参加し、パルティにも出向き、沢山の講座、セミナーから男女共同参画を学ぶチャンスを与えて頂きました。平成11年6月「男女共同参画社会基本法」が出来、県内でも平成17年11月にDV防止基本計画が策定されるなど、より深く人権の尊重が認め合える時代になりました。意識の啓発により職場・我が家も暮らしやすくなりました。これからも協力し合い輝いて行ける地域づくりに繋がれば、と思ひます。

(青山房子)

「新しい仲間との出会い」

かれんと42号から編集員の仲間に加えて頂きました。1号から読み返すと鹿沼市の男女共同参画の流れを感じるとともに、時代の流れの一部に携わることができ嬉しく思っています。編集のことなど何も分らず始めましたが、編集員さん達と月に1~2回、編集会議で内容を決定していく過程は、私にとって刺激を受けることがあります。ちょっと大変だけど楽しみながら、やりがいを感じています。そして市政にも少し興味をもてるようになったと思ひます。

(高橋和子)

講座レポート その1

とちぎウーマン応援塾2016
女性(わたし)の力を活かす!

この講座は県の男女共同参画に関する施策を学ぶ講座で、スキル習得研修、県外研修、報告会、交流会などを通して、審議会や自治会等の社会的な場に参画する意欲のある女性を育成するものです。興味を持ち応募し、鹿沼市の推薦を受けて参加しました。7月から10月まで全6回の講座のうち、最も心に残っているのは、「コミュニケーション」受け止め方と伝え方」です。コミュニケーションのプロセスにはステップがある事(相手の声の大きさ・話のテンポ・価値観など相手をよく観察する↓相手のペースに合わせる↓結果互いの信頼関係が生まれる)を学び、2人1組になり実践的なワークショップにも参加することが出来ました。

また8月27日に、埼玉県の独立行政法人国立女性教育会館で開かれた「NVEC男女共同参画推進フォーラム」での研修では、沢山のワークショップ(子



供を持って働く女性・地域推進・DV等)がありました。どれも魅力的で選ぶのが大変でしたが、参加したのは「行列ができる講座の企画と思わず手にとるチラシのつくり方」です。地域や仕事・ボランティアですぐ使える内容などで盛りだくさんでした。

今回講座の中で経験した事を、自分の生活や仕事に少しでも取り入れて、これからの人生を活力あるものにしていきたいと考えています。

そして、「学ばなう」「知らなう」でいるよりは、「知る事を楽しむ」事が重要だと考えるようになりました。

最後に、経験したことをこれからの若い世代に伝えていきたいと思ひ、今回レポートを書かせて頂きました。(高橋和子)

